

薬学部

徳島キャンパス

アドミッション・ポリシー

1 学部の求める人物像

チーム医療の一翼を担い、地域住民から信頼される「くすり」の専門家を育てています。そのような薬剤師になるには、専門領域の学問を修め、協調性と思いやりをもった豊かな人間性を形成する事が重要と考えています。そのために密度の高い日々の学習や研究活動への参加を通して、確かな専門性、問題発見・解決能力、コミュニケーション能力の育成を図っています。このような薬学部での取り組みに共感し、薬学部の勉学に取り組みたいと強い意欲を持っている人を求めます。

2 入学試験の基本方針

AO入試では、薬学に対する多大な向学心を有し、多くを学び取る能力に優れ、医療人への確かな志を持ち、「他人の立場や状況を理解して行動できる」受験生を選抜します。また、「できるだけ早く進路を決定したい」という方などにも適する入試です。

これらの能力を評価するため、AO入試では複数回の面接試験の過程で課題発表と個別面談を実施して、課題学習への態度と成長度合い・薬学への学習意欲と適性・コミュニケーション能力などについて、薬学部に入学した後に自ら学んでいける能力を評価します。

AO入試では、高校時代に自ら何かに挑戦した実績も重要な評価対象になります。課題達成と面談発表の準備のために、十分な時間と最大限の努力を注いでください。

面 談 型

面談方法	連絡 課題提出	エントリーシート受付後、下記①②の提出をお知らせします。 ①志望理由書（入学後の目標、将来の夢、得意分野等を800字以内にまとめる） ②高校時代の活動記録（様式は志願者が自由に作成）。外部英語検定やスポーツの段位などで資格を有している場合には積極的に記入のこと。 本学のAO入試担当者から、面談場所や日時について相談の電話をします。
	面談	1回目：書類審査と個人面談 2回目：グループ討論、個人面談（1回目合意者のみ）
学力把握方法	グループ討論	1回目の面談の際に2回目の面談で行うグループ討論のテーマを伝えます。2回目の面談では、与えられたテーマに関する準備状況、グループ討論での発表、討論の内容と態度を評価します。
	個人面談	2回目の面談の際に個人面談を行い、1回目の面談で与えられたテーマについて十分に調べてきたかどうかについて確認を行います。また、薬学部での勉学に必要な基礎知識・潜在能力を有しているかについて口頭で確認を行い、入学前教育の参考にします。
	評定平均値	調査書の全体の評定平均値が3.6以上あるいは「理科」、「数学」のいずれかが3.8以上であることとします。

入学前教育

入学後に薬学部での勉学にとまどうことなく、充実した大学生活を送ることができるように、合格決定日から入学時までの間、担当教員が通信教育、個別指導、教材提供等で親切に勉学を支援します。